

ゆっくりとゆったりと生きる。

あやちょう  
綾町

宮崎県のほぼ中央に位置し、総面積 9,519ha のうち約 80% が森林で占められています。人口は約 7,000 人前後。西部・北部・南西部ともに険しい九州中央山地に連なり、東部が開けて宮崎平野に続いています。綾北川・綾南川に囲まれた地域は、日本有数の照葉樹林帯が広がる地域であり、鳥獣や魚類の棲息・植物の生育地となっています。

# slowly slowly

**Topic**  
40年の想い。安全性の集大成「綾ぶどう豚」



「抗生素質は本来細菌性の病気を治療する薬。本当は病気がなければいらぬんですね。」と話すのは2軒のうちの一つ、江島農場の江島社長。当時、市販の飼料にはすでに抗生素質が入っているものが多く、まずは与える飼料だと自家配合出来る飼料工場をつくりた。豚舎は開放豚舎で気持ちの良い風が吹き抜けていく。一頭あたりの面積も広くとり、糞尿はすのこ状の床からそのまま床下に落ちていく。清潔で気持ちのよい環境。健康的で美味しい餌。そして日々の徹底した健康観察。そういうことで抗生素質の使用を最低レベルにまで引き下げた。

綾豚会の発足は1978年。高度経済成長期を向かえ生活が豊かになるとともに、ファストフードなど食のインスタント化が急速に始まった頃。当時ブロイラーや豚肉の抗生素質の残留がニュースになることもあり、安全安心な豚肉をつくることが必要だと感じた。

「抗生素質に頼らない、  
安心・安全な豚肉をつくる」

綾の中心部から15分。縄文遺跡が出された尾立地区の、細く曲がりくねった山道を登り切るとそこは、ぽつかりと開けていて日の光が燐々と降り注ぐ。のんびりと広がる畑を見ていると、きっと縄文人も住みやすかつたに違いないと思えてくる、そんな尾立地区の一角にあるのが「綾豚会」の養豚団地。広大な敷地内に巨大な9棟の長い建屋が軒を連ね、2軒の農家によって約3千頭の豚が生産肥育されている。



RYOUTONKAI



りょうとんかい  
株式会社 綾豚会

非遺伝子組換え飼料を主とした自家配合飼料で、主にグリーンコープ生協で販売されている「産直豚」、雲海葡萄酒醸造所の雲海ワインを製造する際に出るぶどうの搾かすを飼料に配合した「綾ぶどう豚」の飼料の製造をしています。

〒880-1302 宮崎県東諸県郡綾町北俣2096  
TEL 0985-77-2912

ふるさと納税係一推し「綾ぶどう豚」  
一度ご賞味あれ。



ayacoto - Ayacoto -



りコストがかからてくる。当初は値段が高いという理由で買ってくれる業者がなかなか見つからなかつたが、自分たちの豚肉の価値を理解してくれる業者を探し日本全国、駆け回った。どんな餌を使いどんな環境でどんな豚を育てているのか。丁寧に説明して回りようやく順調になつたのは2年後のことだった。

